

第3回ORD中国ビジネス関連セミナー	1
ORD6次産業化セミナー	2
技術促進委員会「見学会」レポート	3
2014年度第2回ORD製品開発委員会例会	4
技術促進委員会「見学会」レポート	5
事務局日より	6

編集：企画広報部会 事務局：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東1丁目10番25号(奥野製薬工業(株) 企画開発部内)
TEL 06-6961-0886 FAX 06-6963-0740 E-mail info@ord.gr.jp URL http://www.ord.gr.jp

第3回 中国ビジネス関連セミナー 上海自由貿易区の概要

日 時：2013年12月19日 会 場：奥野製薬工業(株)本社 会議室



第3回ORD中国ビジネス関連セミナーは「上海自由貿易区の概要」と題して大阪府産業リサーチセンター専門員の江原均氏をお招きしてのセミナーになりました。

前回までの中国関連のセミナーはどちらかと言えば中国とどのように対峙するかの話が多かったのですが、今回は前回のセミナーで聞きたい話の中で多かった上海自由貿易区(正式には上海貿易試験区)を取上げました。少しでも前向きな話しを聞きたいとの表れでしょうか。

私達は、自由貿易区と聞くと香港やシンガポールのような貿易地区を思い浮かべますが、上海の自由貿易区は少し違うようです。

元々上海は中国の経済センター的な役割を持っていましたが、コンテナの取扱量は世界一ながら



オフショアや中継貿易は遅れ、今後香港が完全返還された時に取って代わるべく計画されたとの事です。又TPP等の新ルールへの対応も迫られているようです。



投資の利便化、貿易の自由化、行政の簡素化、人民元の国際化を目標に現在名称認可が6000社、登記が1434社あるそうですが、中小規模が圧倒的で貿易・サービス業が約7割そして金融が67社で外資系が僅か3%というのが現状だそうです。

貿易重点品目が確定されておらず大手の進出、外資の進出が殆ど無いのが現状でORD会員で実際に見られた方によると只広い土地(28.78平方キロ)だけが広がっているそうです。

悲願だった上海地区での日本の車工場進出も可能になるのではと考えるも、「尖閣諸島問題等」「政治の左翼化と経済の右翼化」「西移」「南移」等など今後の推移を見守る必要があります。

(事務局/記)

ORD6次産業化セミナー

- 日時：2014（平成26）年4月14日（月）
- 会場：奥野製薬工業(株) 本社 大会議室



本年度第1回セミナーを、平成26年4月14日奥野製薬工業(株) 本社大会議室におきまして、「近畿における6次産業化の取組について」のセミナーを3部構成にて開催いたしました。

第一部は、行政の立場から、近畿農政局の井上様より、平成23年3月に施行された「六次産業化・地産地消法」の活用に対する説明。近畿農政局を事務局とする「近畿農業・農村6次産業倶楽部」による、農村漁業者・企業・行政・消費者団体・大学等の加入者間の連携や取組事項の説明及び6次産業化の取組に関する、国（農林水産省）の補助金についての説明。

第二部は、大阪府6次産業化事務局の、JTB 大山氏より6次産業化のネットワークについての活動・PR、時限立法による「(株)農林漁業成長産業化支援機構法」に基づくファンドの利用方法についての概要説明。

最後に、6次産業化プランナーの下田氏（弁理

士・中小企業診断士)より、6次産業化支援者としての位置づけ・関わり、農林漁業者の自立支援を主眼とした農商工連携スキームの構築、6次産業化支援に対する課題等、具体例を交えてご講演を頂きました。

セミナー後の懇親会には、大阪府事務局の大山様、6次産業化プランナーの下田様にもご参加頂き、6次産業化に対する知識を深めました。講師の先生方には、紙面をお借りしてお礼申し上げます。

松浦勲（記）/
ラミネートインターナショナル（有）

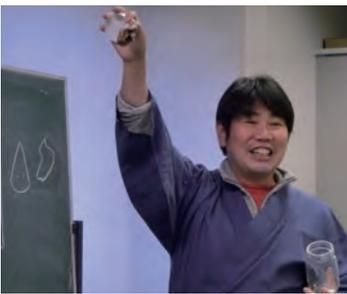


技術促進委員会「見学会」レポート

●日時：2013年12月10日(火) ●場所：堺伝統産業会館、忘年会



冬晴れの中、総勢13名にて堺伝統産業会館に行きました。当会館はインターネットにより「平成23年10月オープン」の堺の伝統産業を一堂に集めた施設となっております。今回はORD顧問の大阪府立大学経済学部経済学部で特命副学長の山本浩二先生にご紹介により、当会館を見学後、奥野晴明堂、奥野浩史様に線香についてご講演していただき、線香の製作実習を行いました。



堺はあまりにも近くなので普段あまり気にされている方も少ないと思いますが、多くの古墳、神社仏閣を有し、古くから栄えている日本有数の都市であります。当然、そこには伝統工芸品やそれに伴い匠の技が伝承されております。会館では、堺の伝統、匠の技ということで、①刃物、②線香、③緞通、④昆布、⑤自転車、⑥和菓子などの体験・学習・展示コーナー、堺の逸品、名産品を販売するショップがありました。特に刃物については大変多く展示されており、当日も説明員の方が詳しく歴史や製造方法について教えてくださいました。

さて、線香ですが、なぜ線香というかといえば、その文字のとおり「線の形をしたお香」だからで、お香というのは元々伽羅を小さく切断したものを指すそうです。お香は飛鳥時代に伝えられ、平安時代には調合が始まっていたそうです。一方、お香は大変高価なため、お香と楠(タブ)の樹皮を粉末にしたものを練り合わせ、線形にしたものを線香と呼び、約400年前に小西行長が堺に伝えたといわれています。それが各家庭への仏壇の広がりに伴い線香の需要も伸び、今では300億円市場とのこと。そのほとんど

は仏事向けで、流行のアロマ向けは18億円市場にし過ぎないとのこと。比較的ニッチな市場の割に大手が新規に参入するためには非常に多くのラインアップを展開する必要があるため(香りの好みは千差万別のため)、大手の参入は今のところないそうです。

そのようなお話を聞いた後、いよいよ製作実習へと移りました。用意してある2種の粉末を練り合わせ、型で抜くだけなのですが、いつものごとく賑やかな楽しい時間を過ごしました。今年「匠の技」をキーワードとし、伝統品の製作実習を例会に取り入れ、4月の金箔押し、6月の手延べそうめん、10月の水引、と続いたのですが、実際のところ、こんなに色々な体験実習がリーズナブルなお値段(1,000~2,000円)であるとは始めるまで知りませんでした。製造過程のほんの一端をほんの少し体験したに過ぎませんが、実習することにより伝統工芸品や匠の技をより深く知ることができたように思います。



そのあと恒例の忘年会に向かったのですが、年の締めくくりに日本の伝統芸を堪能しようということで、少し贅沢をして京都から舞妓さんと芸妓さんに来ていただき、楽しいひと時を過ごし、一年の疲れをいやしました。

末筆ながら、お世話になった堺伝統産業会館のスタッフの方々をはじめ、奥野晴明堂、奥野浩史様に紙面をお借りしてお礼申し上げます。

伊場田晶(記)/旭テック株式会社

伊場田晶(記)/旭テック株式会社



2014年度第2回ORD製品開発委員会例会

●日時：2014（平成26）年6月18日（水）午後3時～5時30

●会場：ユニケミカル(株) 2F 203号室、通称：ORD製品開発委員会々議室 大阪市淀川区西中島 第7地産ビル

「例会の議題と決議事項」

1. 「ORD総会主要事項報告」

報告者：藤川委員長

2. 「日帰り研修」訪問先検討・審議と決議

9月17日には恒例の日帰り研修を実施します。見学先について討議したところ、

(a)スプリング8（大型放射光施設、兵庫県）(b)カミオカンデ（神岡宇宙素粒子研究施設、岐阜県）など毎回候補に挙がるどころが提案されましたが、結局第一候補として、製品開発委員会のメンバーでもある三社電機製作所の「滋賀工場」が選ばれました。三社電機は、電源機器製品は大型特殊製品を主として滋賀工場で、その他小型標準品や基板等の部品を大阪工場で製造していました。しかし、太陽光インバーターなど、大型特殊製品群は今後需要伸長が予測されるため、製造能力増強を目指し、滋賀工場に新工場を増築しました。新工場は2014年4月に竣工しました。その新工場が見学先です。

3. 「メンバー企業による講和」

①「国際ライセンスビジネスの実際ーテクノロール(株)の場合」

テクノロール(株) 海外営業部部長・藤川儀夫（製品開発委々員長）

テクノロール(株)は印刷用のロール製作とその技術指導に特化しています。現在は大阪府和泉市のテクノステージに4工場と埼玉県戸田市に関東支店と工場を持っています。製品開発委員会も過去にテクノステージのテクノロール事業所を見学させて頂き、西協会長兼社長から懇切にお話を伺ったことがあります。当社は単に印刷用ロールを売るだけでなく、技術の開発に努めてきたので、多くの特許も保有しています。現在は14社の「許諾権利実施権者」を持っているが、別途ドイツの会社他2社の有力な技術のLicenseeでもあるそうです。技術指導が伴うロールについては特に新興国で歓迎されており、今後は海外市場におけるLicenseeを増やすことがテクノロールの目標です。海外営業部は創部以来



20年以上の歴史があり、新たに藤川委員長がその責任者として迎えられ部長に就任しました。全部員は5名ですが、現在の輸出比率の15%を30%以上に増やすことが、藤川部長の任務です。

②「一小企業の生残りをかけた海外市場進出と武器とする紫外線技術」

セン特殊光源(株) 代表取締役・菊池 清

セン特殊光源が過去最高の売上高を上げたの



は1999年で11億円超であったが、リーマンショックの後はそれが半減しました。社長の経営力の無さが一番の原因ですが、日本企業の凋落も大きく影響しています。その事は6月11日のORD総会における特別講演で、岡本コンサルタントが詳しく説明したところでした。テクノロール社同様我が社も海外市場の開拓を余儀なくされています。海外輸出比率だけは1999年の0.33%が2013年には33.26%に達しました。それも商社を通さない自力による輸出ですが、それが可能であった理由の一つに我社の紫外線技術とその製品にありました。海外でブランドとして通っていたのです。後は経営者の能力次第で花が満ちるか枯れるかです。

懇親会 会場：ホテルコンサルト（西中島南方）

製品開発委員会は例会後必ず懇親会を開いてい

ます。多くは製品開発委員会々議室近くのホテルコンサルトです。尚、製品開発委の会議室はユニケミカルの神崎社長の好意で、



無償で使わせてもらっています。今回の懇親会には珍しく若い女性が参加しました。実は彼女はテクノロールの海外営業部の社員です。大学を卒業して2年間の海外留学を終えたばかりの24才の才媛で、今年の1月にテクノロールに入社したそうです。

菊池 清（記）／セン特殊光源

技術促進委員会「見学会」レポート

●日時：2014年2月5日(水) ●場所：大阪地方裁判所



突然の雪の中、総勢15名にて大阪地方裁判所を見学してまいりました。皆さん、あまりご存じでいらっしゃる方もおられないかと思いますが、実は裁判所は一般の方でも自由に入出入りでき、実際の裁判を傍聴することができます。今回は団体ということもあり、裁判所事務局の方に簡単な説明もしていただき、当日行われていた民事・刑事裁判を傍聴いたしました。



裁判所内の正面玄関に集合していると、裁判所の事務局の方（残念ながら名刺交換はできませんでしたが）が来られ、まずは法廷に案内していただきました。おそらく大阪地方裁判所内でも大きな法廷だと思われるのですが、裁判長、裁判官の大きな革椅子が正面にあり、その背後は大理石の壁と出入口で、壁一面はビロード張りという、まさにテレビ等でおなじみのイメージ通りの場所でした。そこで、簡単に裁

判員制度と通常の裁判の流れを説明していただきました。一人の人生がかかっていたりするのでから当たり前ですが、訴状の提出から始まり、かなりの手順を踏んだ後、判決が出されます。皆さん、あまり経験のないことなので、なるほどと感心しきりでした。説明後、法廷内を自由に見学してもよいとのことでしたので、各人、裁判長の椅子に座ったり、被告人席や証人席に足を

運んだりして裁判の疑似体験をしておりました。

その後、少人数に分かれて実際の裁判の傍聴を行いました。裁判が行われている法廷の入口に裁判の内容が簡単に記述されている張り紙がしてあり、それを見て興味があれば法廷に入り傍聴します。法廷への入退室は自由ですが、注意しなければいけないことは、入退室を含め法廷内では静かにすること、写真撮影、録音をしてはいけないこと、等です。不謹慎な話ではありますが、殺人事件、詐欺事件等のニュース性の高い刑事事件は比較的傍聴人が多く、企業間の民事裁判等は比較的傍聴人が少ないようでした。今年の技術促進委員会は体験実習を必ず入れていたのですが、今回はさすがに疑似体験で済ませました。

あっという間に時間がたち、寒中、会議場所の奥野製薬工業（株）に徒歩にて向かい、活動企画会議を行いました。来年のテーマは「世界に翔たく日本の先端技術」となり、定例見学会は、①4/24：古野電気（株）、②6/20：スプリング8、SACLA、③12/5：（独）理化学研究所、再生医療センター、一泊研修は、10/24-25：中村ブレイス（株）、石見銀山、さらに、7月中旬に有志見学会として、（独）海洋研究開発機構、となりました、来年も盛りだくさんの活動が期待できそうです。

末筆ながら、お世話になった大阪地方裁判所事務局様に紙面をお借りしてお礼申し上げます。

伊場田晶（記）/旭テック株式会社

事務局よりお知らせ



平成25年度 海洋研究開発機構 研究報告会 JAMSTEC2014	
海洋からひもとく地球の未来	
プログラム	
13:00-13:30	開会挨拶
13:30-13:45	【第1部】平成25年度産研報告
13:45-13:55	●平成25年度産研報告の総括 地球の未来を海洋からひもとく -JAMSTEC202013年の歩み- 担当: 長谷川 洋一
13:55-14:05	●産研報告に関する取組(パネル)の質疑 担当: 長谷川 洋一
14:05-14:20	●「ムンガク」世界一高航路 QUELLEO13 担当: JAMSTEC 船体工学部 船体工学部 船体工学部
14:20-14:35	●東北地方太平洋沖地震調査隊による巨大地震・津波発生メカニズムの解明 担当: JAMSTEC 地球環境システム部 地球環境システム部
14:35-14:50	●ガレキとどうなったか? 津波発生時の環境と復興に向けた取り組みについて- 担当: JAMSTEC 地球環境システム部 地球環境システム部
14:50-14:55	質疑応答
14:55-15:00	昼食・お茶会
【第2部】産研フォーラム 産研報告 -JAMSTECの未来-	
15:00-15:15	●「産研フォーラム」の意義 担当: 長谷川 洋一
15:15-15:30	●「産研フォーラム」の意義 担当: 長谷川 洋一
15:30-15:45	●「産研フォーラム」の意義 担当: 長谷川 洋一
15:45-16:00	●「産研フォーラム」の意義 担当: 長谷川 洋一
16:00-16:15	●「産研フォーラム」の意義 担当: 長谷川 洋一
16:15-16:30	●「産研フォーラム」の意義 担当: 長谷川 洋一
16:30-16:45	●「産研フォーラム」の意義 担当: 長谷川 洋一
16:45-17:00	●「産研フォーラム」の意義 担当: 長谷川 洋一
17:00-17:15	閉会挨拶
会場情報	
会場	東京国際フォーラム ホール7F
〒	100-8558
TEL	03-6342-1000
お問い合わせ	
お問い合わせ先	JAMSTEC 事務局
TEL	046-867-8282
ホームページ	http://www.jamstec.go.jp

JAMSTEC2014

平成26年3月5日東京国際フォーラムで(独)海洋研究開発機構の研究報告会JAMSTEC2014に招待され参加してきました。300人以上は聴講されていて盛況でした。

5件の発表とパネルディスカッションがあり世界最高水準の海洋探査技術に感動しました。

今年7月に予定している海洋工学センターの見学が楽しみです。

第1回産技研プロジェクト研究報告会

平成26年3月11日第1回産技研プロジェクト研究報告会が大阪府立産業技術総合研究所で開催され、「革新型電池プロジェクト」「最先端粉体設計プロジェクト」「薄膜・電子デバイス開発プロジェクト」の各プロジェクト研究の発表がありました。



MOOV,press 4月号

2014年4月大阪府商工部ものづくりビジネスセンター大阪(MOBIO)の広報誌MOOV,pressの4月号にORDが取上げられました。